

## 蚕都上田 90 周年記念事業『蚕都上田お宝発見』

### 取り組みに至る背景・事業の目的

- 上田が蚕糸業で活況を呈し、まちづくりや上田自由大学などの文化活動が興り「蚕都」と呼ばれた時代に強い関心を持ち、現存する近代化産業遺産などの地域資源を活用して誇りの持てる上田のまちづくりに資するため、平成 20 年 7 月に市民やまちづくり団体、大学の研究者等から構成される「蚕都上田プロジェクト」を立ち上げた。
- 平成 21 年は蚕都上田の背景にある上田の市制施行から 90 周年に当たるため、これを機にかつて「蚕都上田」として活況を呈した時代を検証し、「蚕都上田のまちづくり」を始動させる。
- 地域住民や次世代を担う子供たちに対して「地域の誇り」を醸成させ、将来、蚕都遺産の常設展示館を設置することを目指す。
- 横浜開港 150 周年とも絡ませ、インターネットも活用することにより、蚕都上田の「お宝」を全国へ発信し、交流人口を増やす。

### 事業内容

蚕都上田のまちづくり・人づくりを始動させるための事業『蚕都上田お宝発見 2009』を実施した。

- ・蚕都上田展（藤本蚕業歴史館の開設記念展示、上田つるし飾り「甦る布展」など）
- ・上田市立博物館企画展「蚕都上田と横浜開港」との連携による蚕都上田展・巡回ツアー 5 回
- ・シンポジウム 2 回（「蚕都上田お宝発見～歴史と文化～」  
「蚕都上田のまちづくり・人づくり」）
- ・蚕都上田まちあるき 4 回（西塩田・別所編、飯沼・丸子編、塩尻編、市街地編）
- ・近代化産業遺産めぐり～群馬編～
- ・蚕都上田マップづくり
- ・キッズプログラム
- ・蚕都上田デジタルアーカイブサイトづくりなど

### 事業効果

- 事業全体では約 2,600 名を超える参加者があり、多くの住民に蚕都上田をアピールすることができた。
- シンポジウムや「甦る布展」などでは、横浜や東京など関東からの参加もあり、蚕都上田を全国に波及させることができた。
- キッズプログラムには 130 名の児童が参加し、学校との連携が試行できた。
- 蚕都上田マップ 40,000 部配布、延べ 20 時間以上に及ぶケーブルテレビでの番組放送、動画中心のウェブサイト公開などメディアミックスによる事業の波及効果は大きい。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 蚕都上田のまちづくり 2 年目となる平成 22 年度は、まちづくり交流・発信の拠点づくりに重点を置き、多くの住民が自ら積極的に参加したり、情報を出し合うインターネット放送局の活動を新たに始動させる。
- 上田市の文化財「旧上田市立図書館」をその交流発信拠点「蚕都上田館」として開設、笠原工業「常田館」も拠点化して多くの住民参加が見込まれる「甦る布展」等を開催する。
- インターネット放送局の機能・環境は蚕都上田館に包摂し、トーク番組、ライブ中継などを楽しみながら、市民・青少年の地域情報発信力を高める活動を行う。

#### 【選定のポイント】

事業全体で延 2,600 名を上回る参加があり、また関東方面など県外からの参加もあるなど、蚕都上田を全国に向けて発信できた。また VTR や蚕都上田マップなどをインターネットで配信することにより、参加者以外にも蚕都上田を PR できている。



【シンポジウム】



【キッズプログラム】

団体名 蚕都上田プロジェクト（上田市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	事業費	3,729,292円
ホームページ <a href="http://www.santo-ueda.jp/">http://www.santo-ueda.jp/</a>	支援金額	3,729,000円
メールアドレス <a href="mailto:commit@poll.ueda.ne.jp">commit@poll.ueda.ne.jp</a>		